

## 計画停電で実現、毎日ご飯。

「ご飯が週3回の相模原市の小学校。だが4月、同市的一部分の学校給食で、異変が起きた。東京電力の計画停電の影響で、市内72校のうち、25校は毎日ご飯、33校は毎日パンの給食になった。全国的に給食の米飯化が進むなか、突如として実現された完全米飯給食で、後戻りした完全パン給食。給食の主食のありようを、子どもや保護者、栄養士、医療関係者はどう受け止めたのか。」

### ■「飽きた」の声も

4月は毎日ご飯だった、市内のある小学校。5月初旬、子どもたちは4月を思い起こし、「カレーライス最高」「えびのオーロラソースを」飯にかけるとおいしかった」と給食を自慢した。ご飯好きな子には当然ながら大好評だ。最高の1ヶ月間、「ご飯の種類が多くてうれしかった」通常に戻った5月のこの日の主食は、きな粉揚げパン。新学期初のパン給食だ。パン好きな子は、この日を待つてまたとばかりに大喜び。「4月は寂しかった」「パンはおかげでおいしいから」一方、4月が毎日パンだった、市内のある小学校。パンの種類がロールパンとコッペパンだったので、「揚げパンやチーズパンなら良かったのに」「ジャムがついていたから、少しは良かった」との声。それでも、パン好きな子にどうほは「ずっとパンでいい」家ではいつもご飯だから。対するご飯好きな子からは、「おいしいかった。だけど、ご飯が食べたかった」。両校とも、ご飯とパンの両派から「毎日（パン、もしくはご飯）に飽きた」という声もあった。

■食べ残し少なく  
市教委によると、計画停電

# 理想は完全米飯化 ——学校給食の主食を考える

で炊飯に支障を来すこと懸念。全校の給食を委託業者のパンにする案もあつたが、日にによってパンとご飯を、学校ごとのシフト制しているため、全校分のパンを作れなかつた。このため、委託米飯の14校以外は、計画停電対象地区の学校を毎日パン、同対象外の学校を毎日ご飯にする緊急の措置を取つた。

計画停電対象地区的学校の栄養士によると、規則で喫食2時間以内に料理を仕上げなければならぬ。給食後は食器の洗浄や熱風消毒もある。

停電による時間の制約上、おかずの品数を減らした。すると、子どもたちはよく食べ、残量が少なかつた。「品数が少ないと、子どもたちは集中して余裕を持って食べられるのかも」と栄養士。

### ■飽食時代だから

横浜市医師会学校医部会の小児生活病委員会委員長で小児科医の相澤扶美子さんは米飯推進派。「本来ならば完全米飯給食が理想。パンには油が含まれているが、ご飯には基本的に油は含まれていな

い。パンでは腹持ちが悪く、帰宅後に家で甘いお菓子を食

べてしまう可能性もある」と、子どもの健康を危ぶむ。

相澤さんは、菓子パンが主

食の給食には特に違和感を覚

え、こんな提言をする。「お

従来通り米飯は週3回と説明

された。母親は不満だ。「社

員食堂だって介護施設たつて

基本はご飯なのに…」

月にご飯給食がなかった分、5月の給食はご飯を増やし

てご飯なんでおかしい」

小5の娘の給食が毎日パン

だったという母親(46)は、「4

月にご飯給食がなかった分、5月の給食はご飯を増やし

てご飯なんでおかしい」

心して娘を学校に送り出せた」と言つたのは、小1の長女。その給食が毎日ご飯だったといふ。母親36歳。だが、5月の献立表を見て、「アーモンドドーム」の日を発見。「菓子パンが主食なんておかしい」

小5の娘の給食が毎日パンだったという母親(46)は、「4月の献立表を見て、計画停電で育つてほしい」

相澤さんは、菓子パンが主食の給食には特に違和感を感じ、このため、委託米飯の14校以外は、計画停電対象地区的学校を毎日パンにする緊急の措置を取つた。

計画停電対象地区的学校の栄養士によると、規則で喫食2時間以内に料理を仕上げなければならない。給食後は食器の洗浄や熱風消毒もある。

停電による時間の制約上、おかずの品数を減らした。すると、子どもたちはよく食べ、残量が少なかつた。「品数が少ないと、子どもたちは集中して余裕を持って食べられるのかも」と栄養士。

横浜市医師会学校医部会の小児生活病委員会委員長で小児科医の相澤扶美子さんは米飯推進派。「本来ならば完全米飯給食が理想。パンには油

が含まれているが、ご飯には油が含まれていない。パンでは腹持ちが悪く、帰宅後に家で甘いお菓子を食

べてしまふ可能性もある」と、子どもの健康を危ぶむ。

相澤さんは、菓子パンが主食の給食には特に違和感を感じ、このため、委託米飯の14校以外は、計画停電対象地区的学校を毎日パンにする緊急の措置を取つた。

計画停電対象地区的学校の栄養士によると、規則で喫食2時間以内に料理を仕上げなければならない。従来通り米飯は週3回と説明された。母親は不満だ。「社員食堂だって介護施設たつて

基本はご飯なのに…」

月にご飯給食がなかった分、5月の給食はご飯を増やし、5月の給食はご飯を増やし

てご飯なんでおかしい」と栄養士。

相澤さんは、菓子パンが主食の給食には特に違和感を感じ、このため、委託米飯の14校以外は、計画停電対象地区的学校を毎日パンにする緊急の措置を取つた。

計画停電対象地区的学校の栄養士によると、規則で喫食2時間以内に料理を仕上げなければならない。従来通り米飯は週3回と説明された。母親は不満だ。「社員食堂だって介護施設たつて

基本はご飯なのに…」

月にご飯給食がなかった分、5月の給食はご飯を増やし、5月の給食はご飯を増やし